



令和5年10月18日（水）第26号
『校長室の窓から』
八尾市立龍華中学校発行

八尾市 インフルエンザ注意報レベル

八尾市ホームページの「インフルエンザについて」では、10月12日付で「※現在、注意報レベルです 八尾市保健所管内では、感染症発生動向調査による2023年第40週（10月2日から10月8日まで）の発生状況が、1定点あたりの患者数「10.27」となり、注意報レベルの基準値「10」を超えました。『注意報レベル』とは、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを示します。」と掲載されています（<https://www.city.yao.osaka.jp/0000066903.html>）。

市内の小・中学校でも、学級や学年の閉鎖がこのところ毎日のように発生しています。

厚生労働省ホームページには10月13日付で「令和5年度 今シーズンのインフルエンザ総合対策について」が載せられました。その中の「2. 感染防止について」を転載します（<https://www.mhlw.go.jp/stf/index2023.html>）。

（1）「基本的な感染対策」について

COVID-19に対する基本的な感染対策（飛沫感染対策、エアロゾル感染対策、接触感染対策）は、インフルエンザ対策（飛沫感染対策、接触感染対策）としても有効です。

基本的感染対策	考え方
マスクの着用	一定の場合にはマスク着用を推奨（下記参照）
手洗い等の手指衛生 換気	新型コロナの特徴を踏まえた基本的感染対策として有効
「人と人の距離の確保」等	流行期において、高齢者等重症化リスクの高い方は、換気の悪い場所や、不特定多数の人がいるような混雑した場所、近接した会話を避けることが感染防止対策として有効（避けられない場合はマスク着用が有効）

<マスクの着用が効果的な場面>

- 高齢者など重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、医療機関を受診する時や、高齢者など重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設などへ訪問する時等は、マスクの着用を推奨します。
- そのほか、COVID-19やインフルエンザの流行期に重症化リスクの高い方が混雑した場所に行く時については、感染から自身を守るための対策としてマスクの着用が効果的です。

<医療機関や高齢者施設などの対応>

- 高齢者など重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設などの従事者の方は、勤務中のマスクの着用を推奨しています。

[留意事項]

- 子どもについては、すこやかな発育・発達の妨げとならないよう配慮することが重要です。
- なお、感染が大きく拡大している場合には、一時的に場面に応じた適切なマスクの着用を広く呼びかけるなど、より強い感染対策を求めることがあり得ます。ただし、そのような場合においても、子どものマスク着用については、健康面などへの影響も懸念されており、引き続き、保護者や周りの大人が個々の子どもの体調に十分注意をお願いします。
- マスクの着用は個人の判断に委ねられるものではありませんが、事業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは許容されます。ただし、障害特性等により、マスク等の着用が困難な場合には、個別の事情に鑑み、差別等が生じないよう十分配慮をお願いします。

<症状がある場合>

咳や痰などの症状がある場合は、他の人への感染を防ぐため、「[咳エチケット](#)」を心がけることが重要です。

- 咳・くしゃみが出る時は、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクを持っていない場合は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。
- 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗いましょう。
- 咳をしている人にマスクの着用をお願いします。

※ [咳エチケット](#)用のマスクは、薬局やコンビニエンスストア等で市販されている不織布（ふしょくふ）製マスクの使用が推奨されます。

※ マスクの装着は説明書をよく読んで、正しく着用しましょう。

※ [咳エチケット](#)を心がけることは、周囲にウイルスをまき散らさない効果があるだけでなく、周りの人を不快にさせないためのマナーにもなります。

（2）予防接種について

インフルエンザワクチンの予防接種には、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があり、特に高齢者や基礎疾患のある方など、罹患すると重症化する可能性が高い方には効果が高いと考えられます。（以下省略）

今号は、八尾市及び厚生労働省のホームページに上がっている内容をお借りして掲載したもののばかりとなりましたが、皆様方、どうか、ご自愛いただき、インフルエンザ予防に努めてください。